

地盤工学会創立60周年記念事業報告

西 垣 誠 (にしがき まこと)

創立60周年記念事業委員長

1. 委員会の体制と事業方針

本学会は、昭和24年10月1日に日本土質基礎工学会として発足以来、本年度で満60周年を迎えました。これに向けて“創立60周年記念事業委員会”を設置し、表一1に示す体制で、平成20年6月に第1回目の委員会を開催しました。それ以後、この年に3回、本年に入って3回、計7回の委員会を開催し、創立60周年記念事業の基本方針と記念事業の実行と運営についての検討を行ってまいりました。

委員会では、地盤工学会の活動と社会貢献をより広く社会に認知していただくよう努力するとともに、会員にとって魅力ある学会となるため学会のあり方を広く議論し、新たな方向性を示す必要があるとの共通認識に立ち、創立60周年記念事業の基本方針について検討しました。その結果、地盤工学会の社会貢献と新たな展開をテーマに、下記の二つの方針で創立60周年記念事業を開催することにいたしました。

(1) 地盤工学会の活動の実際と社会への貢献を、地盤に関わる技術者だけでなく、広く社会一般に認知してもらう。

(2) 創立60周年を機会に、地盤工学会の新たな展開に向けた将来像を既存概念にとらわれず議論する。

この基本方針を受けて、キャッチフレーズを広く会員に募り、多くの応募の中から、「海に、山に、街に—地盤工学—」を委員会メンバーの多数決により決定しました。このキャッチフレーズは、日本工営㈱の菱山義規氏に応募いただいたものであり、これに込められた思いについては、学会誌の10月号に寄稿いただいております。図一1のロゴマークは、創立50周年のものをベースに決定いたしました。ポスターについても、幾つかの案の中から委員会内の投票にて決定され、キャッチフレーズ

とロゴマークとともに、本部および各支部の主な行事を掲示しました。これを図一2に示しています。

こうしてポスターも3月の時点で完成し、創立60周年に向けた気運も高まってきました。

2. 事業内容

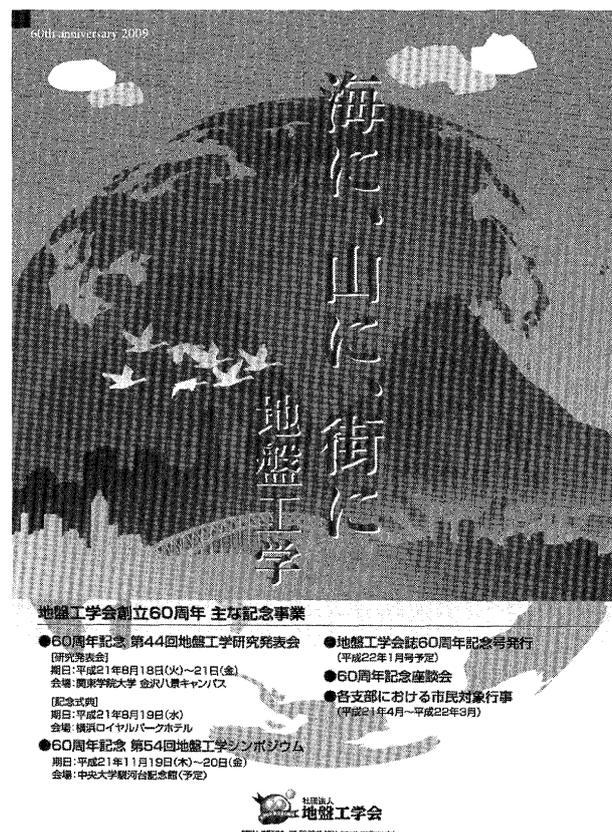
委員会で起案・検討し、各部や各支部で具体化された記念事業の全体を表一2に示しております。①から⑦までの七つの事業について、これから実施される行事もありますが、現在の状況とあわせて簡単に報告いたします。



図一1 創立60周年記念ロゴマーク

表一1 地盤工学会創立60周年記念事業委員会

委員長	西垣 誠	岡山大学
副委員長	原田 健二	㈱不動産トラ
	東畑 郁生	東京大学
前副委員長	土田 孝	広島大学
委員	奥野 哲夫	清水建設㈱
	川西 智浩	(財)鉄道総合研究所
	規矩 大義	関東学院大学
	北田 貴光	大成基礎設計㈱
	佐々 真志	(独)港湾空港技術研究所
	田中 俊行	鹿島建設㈱
	坪田 邦治	中部土質試験協同組合
	堀越 研一	大成建設㈱
前委員	渦岡 良介	東北大学



図一2 創立60周年記念ポスター

表一 2 地盤工学会創立60周年記念事業の概要

事業内容	日程	場所
①創立60周年記念ポスターによる広報活動 1) 創立60周年記念キャッチコピーとロゴマークの設定 2) 創立60周年記念ポスターの作成と広報		
②創立60周年記念地盤工学シンポジウムの開催 テーマシンポジウム：海に、山に、街に―地盤工学―	11月19日～20日	中央大学 駿河台記念館
③創立60周年記念地盤工学研究発表会と記念式典の実施 創立60周年記念第44回地盤工学研究発表会 特別講演会（関東支部共催）：田中真紀子氏、中村英夫氏 記念式典・祝賀会	8月18日～21日 8月19日 8月19日	関東学院大学 関東学院大学 横 浜
④市民見学会など市民を対象とした行事 1) 北海道支部：講演会「北海道の地盤災害を考える―防災・減災の取り組み―」 2) 東北支部：国土交通省胆沢ダム工事現場見学会 仙台市地下鉄東西線工事現場見学会 3) 北陸支部：2007年新潟県中越地震災害調査報告―被害と復旧― 地域の集い「土砂災害を考える」 小中学校へのお出前出張 4) 関東支部：絵画コンクール「大地に夢を描く」 学生対抗ソイルタワーコンテスト 小学生アート泥団子 「我が家を地震と水害から守る」講演会 5) 中部支部：木曾三川治水史跡めぐり 6) 関西支部：市民特別講演会 「北摂地域の活断層地震と地盤災害を考える」（仮称） 7) 中国支部：砂のオブジェ作成コンテスト及びフォトコンテスト 地球温暖化が河川災害に及ぼす影響と河川堤防整備に関する講演会 8) 四国支部：四国における東南海・南海地震研究と対策の最前線（記念シンポジウム） 9) 九州支部：「地盤(JIBAN)―あなたのまわりにかくされた技術を探してみよう」 九州地盤技術探索バスツアー 創立60周年記念特別講演会（市民対象の無料講演会）	9月8日 8月3日 10月14日 7月10日 平成10年1月以降 8月19日 8月20日 8月20日 9月5日 10月17日 H10年1月30日 10月19日 9月25日 8月25日、9月5日 11月25日	札 幌 胆沢ダム周辺 仙 台 柏 崎 富 山 東 京 関東学院大学 関東学院大学 東 京 木曾川三川 池 田 岡 山 高 松 鹿児島、長崎 福 岡
⑤地盤工学会誌創立60周年記念号の発刊	H10年1月号	
⑥創立60周年記念座談会（学会誌に掲載） テーマ：拡大する地盤工学―周辺分野への発展―	H10年1月号	
⑦60周年記念冠事業の実施 1) 2007年度会長特別委員会による出版 （地震と豪雨・洪水による地盤災害を防ぐために―地盤工学からの提言） 2) 論文集等のDVD（創立60周年記念DVD）出版 3) 国際会議の開催 IS Kyoto '09 IS Gifu '09 IS Tokyo '09 4) 地盤材料試験の方法と解説の刊行	5月25日～27日 6月11日～12日 6月15日～17日 11月刊行	京 都 岐 阜 つ く ば

① 創立60周年記念ポスターによる広報活動

創立60周年記念ポスターは、会員および学生・一般市民の方に地盤工学の役割と重要性を認識してもらい、地盤に関心をもってもらうことを目的しております。これを4月初旬に関係機関や大学、中・高校などに3000部発送し、広報につとめました。

② 創立60周年記念地盤工学シンポジウムの開催

毎年開催している地盤工学シンポジウムは、本年度54回を数えますが、本年度は、テーマシンポジウムとして11月19～20日と2日間にわたって開催しました。キャッチフレーズである「海に、山に、街に―地盤工学―」の観点から、地盤工学の諸問題に対して、実験、解析、

設計、施工等、幅広い分野を対象としました。国内のみならず海外プロジェクトに関する工事事例などを取り上げ、発注者、設計者、施工者が実務ベースで発表する場としており、今回は90編を超える論文が集まりました。また、当シンポジウムにおいては、平成20年度地盤工学会賞受賞者による特別講演会も実施されました。

③ 創立60周年記念地盤工学会研究発表会と記念式典等の実施

第44回地盤工学会研究発表会（8月18日～21日）は、関東学院大学で行われ、参加者は1600名近く、発表論文数は987件ありました。技術展示コーナーも30ブース出展され盛会でした。

特別講演会と記念式典は、最も多くの会員が一堂に会する研究発表会に合わせ、大会2日目の8月19日に、特別講演会、記念式典そして祝賀会という順序で行われました。

特別講演会は、例年の地盤工学会研究発表会における特別講演を関東支部との共催で、60周年講演として実施しました。当日の講演会は、関東学院大学のペンネットホールで午後2時より東畑郁生大会実行委員長による挨拶の後、田中眞紀子氏（衆議院議員）の「時代の曲がり角に立って」と中村英夫氏（東京都市大学学長）の「建設公共投資の意義と日本の未来」という2名の特別講演をいただきました。この内容は、学会誌12月号に掲載されておりますので、是非ご覧下さい。当講演会は800名収容の会場が立見ができるほどの盛況でした。その後、会場を横浜ロイヤルパークホテルに移して、記念式典と祝賀会が行われました。

記念式典は、浅岡顕地盤工学会会長の挨拶の後、来賓としておいでいただいた関連学協会（土木学会、建築学会、農業農村工学会、日本応用地質学会、全国地質調査業協会連合会）を代表して近藤徹土木学会会長の代理で三浦清一土木学会副会長、甲村謙友国土交通省技監、大田弘日本土木工業協会副会長より祝辞をいただき、続いて、関連学協会、ゼネコン、コンサルタントからの19通の祝電が披露されました。その後、創立60周年事業報告を行って予定どおり終了いたしました。最後に、これも第44回地盤工学会研究発表会と合同の形で、祝賀会が同じ会場で200名以上の参加を得て盛大に催されました。

④ 市民見学会など市民を対象とした支部行事

本事業は、各支部において市民対象行事を開催するので、創立60周年を記念して各支部において、地盤工学会の社会への貢献を知っていただくことを目的としております。表2に示しておりますように、各支部で市民を対象とした記念講演会や市民参加の見学会など、本

事業の基本方針に沿った行事が実施されています。

⑤ 地盤工学会誌創立60周年記念号の発行

本号を地盤工学会誌創立60周年記念号とします。創立60周年記念の趣旨を考え、①「地盤工学の最近10年の歩み」と、②「地盤工学の今後の新たな展開」の二つを編集の柱として計画しています。

⑥ 創立60周年記念座談会

創立60周年を記念した座談会を「拡大する地盤工学一周辺分野への発展」のテーマで実施しました。この座談会では、いろいろな分野・領域で活躍されている10名のエキスパートの方で熱心に討論いただきました。この内容については、本号の地盤工学会誌創立60周年記念号に掲載されております。

⑦ 創立60周年記念冠事業の実施

1) 2007年度会長特別委員会による出版：総務部

2007年度会長特別委員会（龍岡文夫委員長）は、「地震と豪雨・洪水による地盤災害を防ぐために一地盤工学からの提言」を作成し、研究発表会に合わせ、特別セッションを開催しました。

2) 論文集等のDVD出版：調査研究部

国際会議などの学会活動や各種委員会活動の総括などに加え、地盤工学会誌、Soils and Foundationsなどの出版物などを収録したDVDを出版しました。

3) 国際会議の開催：国際部

国際会議であるIS-Kyoto（5月25日～27日）、IS-Gifu（6月11日～12日）、IS-Tokyo（6月15日～17日）を開催し、60周年記念事業であることを示すコメントとロゴマークを入れました。それぞれの国際会議の報告は、会誌のIS-Tokyoは会誌の8月号、IS-Gifuは10月号、IS-Tokyoは12月号に掲載されておりますのでご覧下さい。

4) 基準書の刊行：基準部

「土質試験の方法と解説」を改定し、「地盤材料試験の方法と解説」と改名して刊行（11月）いたしました。

3. おわりに

本部のメインイベントである8月19日の記念式典も盛大に終了し、創立60周年も残すところ後数か月となりました。大きな山を越えたとは思っていますが、残された行事についても基本方針の趣旨を十分理解いただいで、盛大に実施されることを期待しております。最後になりましたが、委員はもとより、本事業を具体化していただいた各部や各支部の関係諸氏にも、この場を借りて厚く感謝いたします。

（原稿受理 2009.11.6）